

【教育・文化・スポーツ部会】庁内・審議会合同部会 議事録（要旨）

開催日・出席者等

開 催 日 時 令和7年10月7日（火） 13時15分から14時50分まで
場 所 山ノ内町文化センター 第2会議室
出 席 者 審議会部会員4名、庁内部会員7名、傍聴者1名、事務局1名 計13名

協議状況（会議事項）

第1節 健やかで未来につながる人を育む

1. 学校教育

【審議会1】

5年後の目指す姿、文章が長く感じるため、シンプルにまとめるよう検討してほしい。また、目標については、「目指す」でなく「実現」する郷土（まち）で統一をお願いしたい。

【庁内1】

山ノ内町こどもワクワク教育未来ビジョンと整合性を図る目的で、同じ表現としている。

【審議会1-2】

指標に設定している、児童生徒数が基準値577名に対して、目標値490名と減少しているが、指標内容の説明をお願いしたい。

【庁内1-2】

実際の令和6年度の小・中学生の合計児童生徒数が577名となり、令和12年が470名となる。少しでも児童生徒数の減少を抑え、転入者を増やす目的で、全てのこどもがわくわくしながら楽しく教育を受けられる学校を目指し、目標値を490名に設定した。

【審議会1-3】

指標の設定内容について、直接説明を受けないとわからないため、アスタリスクで記載を検討してほしい。

【庁内2】

表現及び注記について担当係と相談し、追加検討を行う。

【庁内1-4】

計画書全体を見ると「子供」、「子ども」と記載があるが、「こども」に統一した方がいい。

【庁内2-2】

「こども」に統一するよう修正を行う。

【審議会 1-4】

施策展開、(3) 地域とともにある学校づくり、町スポーツクラブや中学校と連携を図りとあるが、広域連携を視野に入れ検討をお願いしたい。

【庁内 3】

現時点で広域連携の具体的な考えはないが、今後の展開を考え、広域連携も視野に入れた内容にする。

2. 青少年の育成

【審議会 2】

まちづくりの目標として、教育懇談会出席率が設定されているが、目標値が低く、指標として弱く感じるため、見直しをしてほしい。パーセンテージでの目標値の説明が難しいようであれば、人数に変更した方がいいと思われる。なお、前期基本計画に設定されていた指標だったとしても、無理に指標を持たせる必要はない。

教育懇談会を実施しない地区もあるため、もう少し明確な指標を設定してほしい。例えば、青少年の育成であれば、こどもたちの活動や取り組みがわかる指標を検討してほしい。

【庁内 4】

児童生徒数が減少している中、分母を児童生徒数に設定し、目標値を 25.0%にした。

【庁内 5】

全体を見ると指標を設定していない項目もあるため、無理に指標を持たせる必要もなく、目標に繋がりにくい指標については、新たな指標を検討する。

3. 高等学校以上の教育の振興

【審議会 3】

5年後の目標として、奨学資金を貸し出すことは、手段であり、奨学資金を貸し出すことで、どんな方向に持っていきたいかを目標にしてほしい。

【庁内 6】

前回の施策目標は、奨学資金貸付基金を活用して、次代を担う意欲ある人材の育成を支援としていたため、このような表現の方がいいのであれば、再度検討する。

【審議会 4】

学生全般を含めた、通学支援も必要だと考えるが、検討しているか教えてほしい。

また、施策展開として、通学高校生への支援は、高校生限定となっているため、中学生等を含めた施策展開を検討してほしい。

【庁内 7】

現時点で支援拡大の計画はないが、検討する。

【審議会 5】

定期券購入助成だけでなく、例えばスクールバスに学生を乗降させたり、他にも取り組みを検討してほしい。第4章交通体系に公共交通の取り組みが記載されているが、第3章学校教育として、学生に対して支援を検討してほしい。

【庁内 8】

第4章は、地域住民全般に対しての公共交通であるため、学生に特化した取り組みについては、第3章学校教育が主となるため、関係課が連携して検討を行う。

【審議会 6】

他の市町村でまだまだ策定が少ない、こども基本条例の記載をお願いしたい。学校教育、健やかで未来に繋がる人を育む取り組みとして一番原点になるため、検討をお願いしたい。

【庁内 7-2】

こども基本条例の意味合いとして、第2章、児童福祉の施策展開に含ませているが、第3章にしっかりと記載できるよう検討する。

第2節 豊かな心を育み、共に学び、楽しむ

1. 生涯学習

【審議会 7】

5年後の目標、多様なニーズと記載があるが、具体的にどのようなニーズに対応するのか教えてほしい。

例えば、図書館にカフェを設置してほしいニーズがあったとしても、なかなか難しいと思われるため、表現を再度検討してほしい。

【庁内 8】

現時点で具体的なニーズは把握していない。

【審議会 8】

指標の図書館貸出冊数は、人口減少の中では、貸出数も減少することが予想されるため、図書館の新たな利用方法等を考える意味で、図書館利用者数を指標にした方がいいと考える。

また、現状と課題にデジタル化等の活用と記載があるが、具体的にどんな取り組みを検討しているか教えてほしい。

【庁内 8-2】

県の図書館システムの連携や、サービス方法の検討を行う予定。

【庁内 9】

デジタル化によって、子育て世代が楽しく利用したり、コミュニケーションが取れる場所であったり、新しい図書館の運営方法を検討してほしい。

2. スポーツ活動

【審議会 9】

5年後の目標の表現について、もう少し具体的にしてほしい。

指標に設定した、スポーツ教室等参加延人数の等の中には、何種目存在しているか教えてほしい。

【庁内 9】

指標は、町内スポーツ活動の全体像を把握する必要があることから、総合型スポーツクラブとスポーツ協会の延べ人数を基準値としており、等には、20 種以上のスポーツが含まれる。

【審議会 9-2】

各種個別計画を文章の中に記載し、何に基づいて実施されているかわかるよう、文章内容を工夫してほしい。

第3節 未来につながる文化に親しむ

1. 伝統・文化

【審議会 10】

指標に文化財公開講座の開催回数が基準値と目標値が同数値である。目標であるため、回数を増やした方がいい。回数を増やせないのであれば、回数でなく参加人数に修正した方がいい。

前期基本計画の現状と課題には、町誌について記載があったが、後期基本計画で記載がされていないが、なぜか教えてほしい。

【庁内 10】

回数または参加人数にするか再度検討を行う。

町誌の改編については、文化財のデジタル化の中に含めてもいる。

2. 町民文化

【審議会 11】

文化協会加盟団体数について、前期は現状値 39 団体、目標値 45 団体としており、今回、45 団体と同数にしている理由について教えてほしい。

【庁内 11】

人口減少について、団体数も減っていることから、現状維持を目指し、同数としている。

【審議会 12】

志賀高原ロマン美術館の今後の方向性について、公共施設個別施設計画と整合性が取れているのか教えてほしい。

【庁内 12】

来年度、公共施設個別計画が改訂されるため、その際に方向性を定める。

【審議会 13】

小中学校では、音楽に力を入れており、昨年度から小中学校合同で志賀高原 98 会館で小澤コンサートを開催している。この町は、音楽の町であることをもっとアピールしてほしい。

学校給食について、安全・安心、アレルギー対応等している表記を追加してほしい。

【庁内 13】

指標が、人と名で分かれているため、全体で統一した方がいい。

【庁内 14】

人で統一するよう、修正を行う。

以上